

【これまでの経過】（敬称略）

- 1977 8・6広島反戦討論集会 長崎被爆者 主催：実行委員会（労働会館地階）
- 1978 反核—反原発（反火電）—反侵略8・6広島集会 豊北町漁民 電産中国 主催：実行委員会、後援：労働情報、連絡先：電産中国（教育会館）
- 1979 反核—反原発8・6広島集会 連絡先：電産中国（労働会館大ホール）
- 1980 8・6広島反原発全国交流集会（せとうち苑）
- 1981 8・6反核—反原発全国交流広島集会（みゆき会館）
- 1982 反戦—反核—反原発8・6ヒロシマ集会（薬事会館）
- 1983 第7回広島反戦・反核全国集会
みんなで止めよう！ここにも、そこにも戦争への道、8・6広島集会
基調講演：武藤一羊 分科会（反原発 労働運動 女と反戦）（みゆき会館）
- 1984 第8回広島反戦・反核全国集会 <8・6>の原点から反核行動の連鎖を！（万象園）

【代表：松江 澄】

- 1985 被爆四十年—<8・6ヒロシマ>の原点をとりもどそう！8・5反戦・反核広島集会
（社会福祉センター400人）
近藤幸四郎 榎谷のぼる 舞田宗孝 李実根
二日目＝電産中国反原発ストライキ支援中電前座り込み。
- 1986 8・5広島反戦・反核全国集会（東区民文化センター250人）
（情勢）チェルノブイリ原発事故、原水禁世界大会分裂、戦艦ニュージャージー横須賀寄港
被爆四一年広島反戦・反核集会を非核国際連帯の出発に！「新ヒロシマ宣言」をめざして
開会挨拶＝好村富士彦。議長団＝吉田正裕、湯浅一郎、中川告史郎。
「反原発運動からの提起」榎谷のぼる（電産中国）。「反トマホーク運動からの提起」梅林宏道（トマホークの配備を許すな！全国運動）。「ヒロシマからの提起」松江澄（広島県原水禁常任理事）。ジョー・ヘイター（オーストラリア）。ヤン・ミンケビッチ（ポーランド「自由と平和」）。吉田満智子（トマホーク阻止京都連絡会）。木原省治（原発はごめんだヒロシマ市民の会）。沖縄、在日韓国青年同盟、反戦反核平和運動センター、福岡共同行動、カール・チャップリン、全通青年労働者（大阪・反核サイクリング）。ニュージャージー寄港に反対する特別決議（林修二提案）。湯浅一郎まとめの発言。
二日目＝電産中国反原発ストライキ支援中電前座り込み。
- 1987 87反戦・反核広島集会「ヒロシマを原点に反戦反核の大きなうねりを創りだそう！」
（みゆき会館350人）
挨拶／榎谷のぼる（電産中国）。基調報告／松江澄。三分科会。「運動の場の違いを越えて核社会と闘う反原発運動を全国につくりあげよう」＝木原、溝田、山戸、高木仁三郎、木元、植田敦、反原発きのこの会、電産中国。「日米安保体制とたたかう反トマホーク運動を豊かに拡大し、広範な力を結集しよう」＝梅林、神田、吉田満智子、光吉準。「反天皇制運動の提起を受けとめ、原爆被害者の怒りと沖縄・アジア民衆のたたかいを結ぼう」＝大畑龍次、宗像基、天野恵一、富里（那覇市職労副委員長）。
二日目。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。特別講演／新崎盛てる「沖縄・ヒロシマ・天皇」。韓国青年同盟・朴。「天皇・皇族の訪沖に反対する特別決議」「集会決議」採択。吉田正裕まとめの発言。デモ。
- 1988 反戦反核広島集会（みゆき会館300人）
いまアジアの民衆と向き合う—朝鮮半島の平和的統一と非核の太平洋をめざして—
司会／大畑。総括提案／松江澄。知花昌一。李愛珠。三分科会。朴、梅林、土井淑平、エーリッヒ・ヨヒムセン（デンマーク民衆のためのエネルギーセンター）、韓民統、京都部落解放共闘、荒川純太郎、宗像基。
二日目。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。分科会集約報告。「核の海・北西太平洋をめぐる」湯浅一郎。エレン・ウォラー（非核独立太平洋運動）。「脱原発社会に向けて」原発はごめんだヒロシマ市民の会。『『ヒロシマ』を考える—被害と加害』宗像基。日独平和フォーラム。特別講演／梁官朱「新しい韓国情勢と民衆運動」。梅林宏道、関西共同行動、松江澄まとめの発言。デモ。

- 1989 1989 反戦反核広島集会（みゆき会館 250 人）
 ピースサイクル全国ネットが登場。
 「ヒロシマは核と軍備と天皇を拒否する—アジア民衆の連帯をめざして—」
 提起／松江澄、木原省治、湯浅一郎、朴隆宏、岩松繁俊、PC 全国ネット。討論／東チモール問題を考える会、マレーシア、フィリピン、ヤミー・レスター（オーストラリア先住民）、ジョー・カパンダ（南西アフリカ人民機構）。講演／海とう新（進藤狂介）「アジアをめぐる軍事状況」。集会アピール。宗像基まとめの発言。
 二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。「総評解散以後の反戦反核運動について」討論会。
- 1990 90 年反戦反核広島集会（西区民文化センター300 人）
 「アジア太平洋民衆の連帯で非核の海を！—忘れまい、ヒロシマの「被害」と「加害」」
 報告／吉田正裕。連帯長船労組メッセージ。ピースサイクル全国ネット、グリーンピース、神奈川を非核にする県民運動、弘前・核に反対する会、反原労、金敏経、李相文、ガリーナ、デウゼンベック（ネバダ - セミパラチンスク運動）、韓国青年同盟、吉田満智子、天皇制賛美はゴメンだ！「即位の礼・大嘗祭」に反対する共同行動、反天皇制のうねりを！関西連帯会議」子どもの権利条約の批准を求める 10 代の会。松江澄まとめの発言。
 二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。
- 1991 91 反戦反核広島集会（県民文化センター250 人）
 「湾岸戦争がヒロシマを走った」
 挨拶／吉田正裕。特別報告／ピースサイクル。豊永恵三郎、川原（長崎市民ネットワーク）、イタリア反核・反帝国主義全国連合、服部（NEPA の会）、大沢（生活クラブ生協・北海道）、テアトロ Q、小木曾（福井県民会議）、反トマホーク運動／湯浅一郎、川島（生活クラブ生協・神奈川）山本英夫（天皇の ASEAN 訪問に反対し、PKO・海外派兵を許さない共同行動）、ユン（在日韓国青年同盟）、キム（韓国反核平和運動連合）、山田忠文（強制連行を調査する会）、杉本（名古屋市民平和訴訟）。松江澄まとめの発言。
 二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。三分科会。
- 1992 92 年反戦反核広島集会（県民文化センター250 人）
 「今、ヒロシマが問われる アジア民衆の連帯で、出さな軍隊！入れるなプルトニウム！
 基調提起／松江澄。内田ケビン（日本キリスト教協議会平和と人権センター）、フィリピンのバヤン（新愛国主義者同盟）、大阪ピースサイクル、強制連行された中国人被爆者との交流をすすめる会、謝罪碑建立委員会、ユン（在日韓国青年同盟）、長崎市民ネットワーク、フォーラム「海外派兵を許さな」、生活クラブ生協・神奈川、和田喜太郎（関西共同行動、市民平和訴訟）、島田（那覇市から基地をなくす市民の会）プルトニウムアクションヒロシマ。
 二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。「新しい平和運動の創造をめざして」＝松江澄、中北龍太郎、高木仁三郎、西田理、湯浅一郎。
 ◆子ども企画 ◆フィールドワーク ◆ピースウィーク
- 1993 平和に生きる社会を創るヒロシマのつどい（県民文化センター300 人）
 「戦争と核の被害の根を断つために」
 原爆ドーム前でのオープニング集会。松元寛「戦争と原爆とヒロシマ」。内海隆男「広島強制連行の実態」。豊永恵三郎「韓国人被爆者と日本人の責任」。フィールドワーク／中川幹郎。第二部 松江澄、金順吉、湯浅一郎、ユン（在日韓国青年同盟）、いのちと平和の巡礼、地球の木、原爆の被害展示と合わせて軍都広島の前史展示を求める会、ピースサイクル、ビクターマトム（南アフリカ）、プルトニウムアクション広島、従軍慰安婦問題を考える会・広島、生活クラブ生協、ピースリンク広島・呉・岩国、海外派兵に反対する全国交流会、サム・デー（アメリカ）、長崎ピースウィーク実行委員会、反戦反核東京集会実行委員会、関西共同行動、七三一部隊展全国実行委員会、天皇制はいらない広島ネットワーク。吉田正裕まとめの発言。
 二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。『「平和基本法」の提言をめぐる』。湯浅一郎、海とう新、吉田正裕、松江澄、天野恵一、柴山健太郎、中北龍太郎。
 ◆子どもプログラム。

- 1994 平和に生きる社会を創るヒロシマのつどい（県民文化センター300人）
「侵略戦争敗北と被爆の50年を平和と核軍縮の元年に」
岡本三夫「世界に広がるヒバクシャ—NPT体制の虚構」。内海隆男「スライドで見る朝鮮人強制連行の調査」。「アジアとヒロシマ・ナガサキ—反核と戦争責任」松江澄、岩松繁俊、豊永恵三郎。「ヒロシマ発！憲法9条」国広正雄、岡本三夫、マリア・グスマオ（東チモール）。二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。
池島（ストップ・ザ・もんじゅ）、金分順（韓国原爆被害者協会テグ・慶北支部）、キム・ウオンシク（反核資料情報室）、中北龍太郎（大阪）、氏家久博（長崎）、湯浅一郎。松江澄まとめの発言。
◆スタディ・クルージング
- 1995 平和に生きる社会を創るヒロシマのつどい（カレントコスモ 250人）
「被爆50年・軍都100年ヒロシマは何を伝えていくべきか」
挨拶／松江澄。「侵略戦争と原爆」沼田鈴子、李貴分（韓国人元軍隊慰安婦）。梅林宏道、アメリカ社会主義労働者党。
二日目。デモ。電産中国反原発スト支援中電前座り込み。「今後の運動をどう発展させていくか」
- 1996 平和に生きる社会を創るヒロシマのつどい（県民文化センターのべ 400人）
「沖縄—岩国—ヒロシマ『核の傘』のもとで平和は守れるか」
「在韓被爆者から見た被爆者援護法と戦後51年」豊永恵三郎、夏原。
「沖縄—岩国—ヒロシマ」松江澄、金容漢、新垣重雄、ピースウィーク長崎実行委員会、グリーンピース、ドイツ緑の党、アチン・バナイク（インド）、田村順玄、湯浅一郎、梅林宏道。
二日目。中電前座り込み。

【代表：湯浅一郎】

- 1997 8・6ヒロシマ平和へのつどい1997
「これでよいの？日本 ヒロシマから」
川原洋子 豊永恵三郎 青木雅彦 川村ゆかり 田村順玄 湯浅一郎 大庭里美
安田幸弘 岡田美樹子 沖三保子 駕屋晴治 中谷悦子 三嶋研二
- 1998 8・6ヒロシマ平和へのつどい1998
「それぞれのヒロシマ 再び私たちの役割を考えよう」
松江澄 岸本伸三 平賀伸一 茅野有美 生活クラブ神奈川 松尾美味子（長崎）
アンニャ・ライト 伴英幸 梅林宏道 大庭里美
- 1999 8・6ヒロシマ平和へのつどい1999
「ヒロシマの100年、私たち現在（いま）」
村上啓子 ユン・ガンオン 木原省治 松江澄 政木五郎 志水清 笹本征男
- 2000 8・6ヒロシマ平和へのつどい2000
「21世紀へのヒロシマのメッセージ 自治・環境・共生—私たちのめざす平和のかたち」
豊永恵三郎 森瀧春子 川崎哲 湯浅一郎 舟越耿一
- 2001 8・6ヒロシマ平和へのつどい2001
「ヒロシマからの連帯、21世紀のビジョン」
木原省治 山戸貞夫 郭文鎬 鄭旭湜 豊永恵三郎 郭貴勲 崔鳳泰 ユン・ガンオン
下市このみ 竹林伸幸 梅林宏道 湯浅一郎
- 2002 8・6ヒロシマ平和へのつどい2002
「戦争のない世界へ 人々はどうつながる」
記念講演／武藤一羊。田中利幸 森瀧春子 ATTAC・JAPAN ベトナム 長崎
- 2003 8・6ヒロシマ平和へのつどい2003
「日本（有事法制）も付き合うのか！戦争中毒（あめりか）」
木原省治 田巻一彦 ローレン 郭文鎬 羽熊直行 舟越耿一 柴田もゆる 湯浅一郎
- 2004 8・6ヒロシマ平和へのつどい2004
「ヒロシマからの再出発、憲法9条で戦争を止めよう」
木原省治 舟越耿一 ケン・オキーフ イヴァン・メディナ 李時雨 バルア・アッター

- 嘉指信雄 ラリー・ウイットナー 田中利幸 湯浅一郎 岡本三夫
2005 8・6ヒロシマ平和へのつどい2005
「60年・忘却・継承」
木原省治 舟越耿一 伊藤真理子 米澤鐵志 岸本伸三 ストーンウォーク
カナダ、アメリカ先住民族、アイヌ民族 フィリピン人戦争被害者 在ブラジル被爆者
沖縄ピースサイクル 湯浅一郎
2006 8・6ヒロシマ平和へのつどい2006
「ヒロシマ・ナガサキからイラクまで・・・核時代の戦争に抗して」
木原省治 舟越耿一 ICBUW 国際大会参加者（イタ、イリ） 足立修一 在ブラジル被爆者
原爆症認定集団訴訟弁護団 ピースサイクル 梅林宏道 田村順玄 河野美代子 湯浅一郎
2007 「変わる時代 変わらぬ誓い 平和の希求―歩く、見る、聴く、ひろしま―」
木原省治 豊永恵三郎 北米被爆者 舟越耿一 池田年宏 ピースボート 久保正和
田中利幸 中村桂子 石口俊一 湯浅一郎
2008 「平和を求めるなら9条を鍛えよう―核・基地・グローバル化―」
第一部 木原省治 舟越耿一 盆子原国彦 繁沢敦子 湯浅一郎 ピースサイクル全国ネット
第二部 レベッカ・ジョンソン 豊島耕一 藤岡惇

【代表：田中利幸】

- 2009 8・6ヒロシマ平和へのつどい2009
「2010年NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議に向けて反核運動の高揚を！」
木原省治、豊永恵三郎、平野伸人、長崎高校生一万人署名活動、韓国の高校生、
西岡由紀夫、大月純子、ピースサイクル（新田秀樹）、ピーター・カズニック、田中利幸
2010 8・6ヒロシマ平和へのつどい2010
「核と安保をけつとばせ ― 爆心地からの想像力を ―」
木原省治（原発はごめんだヒロシマ市民の会代表、被爆二世）
舟越耿一（長崎ピースウィーク実行委員会代表、長崎大学教授）
盆子原国彦（在ブラジル被爆者）
高島美登里（長島の自然を守る会代表）
安次富 浩（ヘリ基地反対協議会代表委員）
山城博治（平和運動センター事務局長）
中北龍太郎（関西共同行動）
田村順玄（岩国市議）
湯浅一郎（ピースデポ代表）
田中利幸（広島平和研究所教授）
2011 8・6ヒロシマ平和へのつどい2011
「ヒロシマ・ナガサキからフクシマまで 原発も核兵器もない世界へ！」
「ヒロシマから」木原省治（被爆二世、原発はごめんだヒロシマ市民の会代表、上関原
発を止めよう！広島ネットワーク共同代表）。
「ナガサキから」平野伸人（全国被爆二世団体連絡協議会前会長）。フィリピンの一三歳
の高校生、釜山の韓国原爆被害者二世会会長の李太宰（イ・テジェ）、ソウルと釜山の高
校生、長崎の高校生。
田村順玄（岩国市議、ピースリンク岩国世話人）。
石丸初美（玄海原発プルサーマル裁判原告団団長）。
佐藤和良（いわき市議会議員、脱原発福島ネットワーク）。
田中利幸（当実行委員会代表）。
新田秀樹（ピースサイクル全国ネット、ピースリンク広島世話人）。
「8・6ヒロシマ NO MORE ヒバクシャ みんなでウォーク～原発も核兵器もない世界へ
～」岡田和樹（原発・核兵器なしで暮らしたい人々、ハチの干潟調査隊代表）。
閉会挨拶／湯浅一郎。

2012 8.6 ヒロシマ平和へのつどい2012

核・原子力と“生きもの”は共存できない - ヒロシマから反被曝の思想を！

<第1部（17時～19時）>

- 「ヒロシマから」
木原省治（被爆二世）
 - 「ナガサキから」
平野伸人（全国被爆二世団体連絡協議会前会長）
 - 「国家補償に基づく被爆者援護を」
渡辺淳子（ブラジル被爆者平和協会常任理事）
 - 「伊方原発を廃炉に。大分から」
池田年宏（ピースサイクル全国ネットワーク）
 - 「オスプレイの沖縄・岩国配備を許さない」
田村順玄（岩国市議、ピースリンク岩国世話人）
 - 「ヒバクチャーわれらみな核の風下の人々」
豊崎博光（フォトジャーナリスト）
 - 「2015年世界核被害者大会へ」
田中利幸（当実行委員会代表）
 - 「生命の母・海からの警告」
湯浅一郎（当実行委員会前代表）
 - 「市民による平和宣言 2012 採択」
 - 8月6日の行動提起
 - 7:00～「市民による平和宣言 2012」「8.6新聞意見広告/第九条の会ヒロシマ」等配布
 - 7:45～グラウンド・ゼロのつどい（原爆ドーム前）
 - 8:15～ダイ・イン（原爆ドーム前）
 - 8:45～「8・6 広島デモ 原発も核兵器もない世界を」
 - 9:30～10:30 中国電力本社前。脱原発座り込み行動。
- <第2部 記念講演 19時～20時>
- 「被爆者・被曝者の連帯のために-3・11後の地平」
講師：高橋哲哉